



園名未定

幼保連携型認定こども園
園名未定

保護者説明会資料

ごあいさつ

西大寺北幼稚園の保護者の皆様はじめまして、この度、西大寺北幼稚園の民間移管に伴い、運営候補法人に選定いただきました社会福祉法人郡山双葉会 理事長 生田宏史です。

保護者の皆様におかれましては、平成25年7月に「奈良市幼保再編実施計画」発表から、今日に至るまで園の存続や民間移管と日々不安を抱えながらの子育ては、心配も多かったと存じます。

西大寺北幼稚園は、近鉄大和西大寺駅や菖蒲池駅の間地点にありながら、自然が豊かで静かな雰囲気の中で、子ども達は春・夏・秋・冬の自然に育まれ成長を遂げてきました。

その自然環境は、当法人が大切にしている子育て環境である、子ども達が生き生きと活動できる広い園庭、四季を通じて様々な樹木や植物が織りなす自然環境が整っています。また、長い歴史の中で、地域と築き上げてきた信頼関係は、私たちが理想とするこども園の形を体現しており、これまで培ってきた知識や経験を活かして、西大寺北幼稚園の教育や保育活動を更に充実させることで、子ども達の笑い声と地域の人々の笑顔が混ざり合い、現在園に通っている子ども達が、結婚し、子どもを授かり、将来親子で園に戻って来れるように、地域に取って代われない子育て環境として、西大寺北幼稚園の教育を継承し、守って行きたいと考えます。

また、奈良市は、隣接する大阪や京都への利便性が高く、子育て世代が多く流入しており、子育て中の共働き家庭が増えたことで、地域の乳幼児に対する保育ニーズが高まりを見せています。

当法人は、昭和56年に開始した保育園運営の経験をもとに、また近年では、奈良市立鶴舞こども園を民間移管し、公私連携幼保連携型認定こども園鶴舞やまとこども園の運営で得た経験を最大限に活かすと共に、保育者としての経験や知識を生かし、地域の方や保護者の方々と共に大切に守り育ててこられた歴史ある西大寺北幼稚園を運営できる事を嬉しく誇りに思います。

皆様とは、法人責任者として深く関わらせていただき、質の高い教育・保育を提供できるよう丁寧な運営を心掛け、一人ひとりの子どもの主体性を大切にし、「豊かに学び、自ら考え、行動する子どもを育てる」教育目標を引継ぎ、西大寺北幼稚園の発展した新しい形を保護者や地域の方々と共に、作り上げたいと思います。



ごあいさつ

西大寺北幼稚園の保護者の皆様はじめまして。この度、西大寺北幼稚園が幼保連携型認定こども園として再スタートすることになり、その一員として参加させていただくことになりました松井登喜子と申します。

今回の認定こども園への移行について、保護者の皆様や地域の皆様にとりましては、いったいどうなるの？幼稚園じゃなくなるの？と不安は、いかばかりかと存じます。0歳児の乳児から6歳までの子どもたちが一緒に生活するのと、保育時間が長くなることによる子どもたちの変化や幼稚園として行ってきた行事はできるの？等々の思いがあるのではないかと思います。

私は、短期大学を卒業して以来、大和郡山市の公立保育園・認定こども園にて保育・教育に従事してまいりました。就学前の子どもたちと一緒に過ごし、楽しかったことはもちろんのこと、思い悩んだり悔しい思いをしたりと様々なことがありました。この保育・教育という仕事は本当に素敵です。日々の中生活の中で子どもたちのかわいい一面や意外な一面に気が付き、子どもたちの笑顔にこの仕事を選んで良かったと思うことがたくさんありました。

「子は宝」と申します。子どもたちは様々な経験を経て学びを身につけながら成長していきます。大切な「宝」を育て、磨き、さらに輝かせるのは保護者の皆様をはじめ、子どもたちを取り巻く大人であり環境です。この度、私もその一員として参加させていただき、この西大寺北地区の子どもたちの成長に少しでもお役に立てるよう、尽力したいと思っております。

これまで公立幼稚園として進めてこられた教育を継承し、新たに認定こども園として様々な年齢の子どもたちや大人と関わることで、得られるものがきっとあると思っています。子どもたちの未来や可能性は無限です。子どもたちの毎日が充実したものになりますよう、また新しい認定こども園がより良いものに発展していけるよう努力してまいります。

これまでの経験の中で、子どもたちと共に自分自身も成長させていただいたと感じており、私自身、新しい子どもたちや子どもを取り巻く様々な方々と出会い、どんなこども園を展開していけるのかワクワクドキドキしております。

是非お力添えいただけきますようお願いいたします。挨拶の言葉といたします。



西大寺北幼稚園の運営にあたる基本理念

現在の子ども達の取り巻く環境は、少子化の進行にともない、子どもが互いに育ち合い人格形成の基礎を培う機会が縮小する傾向にあります。幼保連携型認定こども園では、保育園と幼稚園の両方に機能を併せ持つ事により、0歳から就学前の子どもを受入れることにより、切れ目のない集団生活の機会の提供と、乳幼児期から安定した情緒の下で発達に必要な体験を重ね、園児が主体的に活動できる生活を過ごし、家庭や地域を含めた園児の生活全体が豊かなものにならなければなりません。

公私連携の仕組みを取り入れた幼保連携型認定こども園の移行については、保護者の不安の解消に努め、奈良市立こども園カリキュラム「バンビーノプラン」を基に公立幼稚園として長年培ってきた「豊かに学び、自ら考え、行動する子どもを育てる」教育目標を受け継ぎ、こども園・保護者・奈良市が互いに子どもの最善の利益を優先し、信頼関係を深め協力して取り組むことを大切にします。

また、西大寺北幼稚園を初めて訪問させていただいた時、目の前には大きな木々が立ち並び、自然豊かな環境の中で静かに佇む幼稚園と元気に走り回る子ども達を見て、まるで別世界にきたような風景に出会い、心も和み、この地で教育・保育ができることに感銘を受けました。

移管後の園運営については、保護者アンケートの結果をもとに園運営を継承し、何よりもこども一人ひとりをしっかりと受け止め、安心感の中で、伸び伸びと遊び五感を使って、心揺さぶる経験や遊びの中から心の豊かさや命の大切さなどを感じるように、教育・保育環境を整えることを大切にします。

また、これまでに培った経験を活かし、保護者の方々に寄り添い、こどもも大人も「ともに育ち合い、学び合うこども園」を目標に、保護者や地域の方々と共に、より発展した新しい形のこども園を作り上げていきたいと考えます。



郡山双葉会これまでの歩み

Year	Event
1980年	社会福祉法人郡山双葉会設立
1981年	やまと保育園を大和郡山市筒井町に定員90名で開園
2001年	やまと保育園分園を大和郡山市今国府町に定員29名で開園
2004年	やまと保育園分園を拠点化により、ふたば保育園を定員90名で開園
2008年	やまと保育園を改築し定員120名に変更
2010年	はぐみ保育園を大和郡山市冠山町に定員90名で開園
2016年	ふたば保育園を改築し定員140名に変更
2017年	やまと保育園を幼保連携型認定こども園に移行し定員を135名に変更
2019年	ふたば保育園を幼保連携型認定こども園に移行し定員を149名に変更
	やまと保育園分園を大和郡山市高田町に定員45名で開園し、やまと保育園からやまとこども園に名称変更
2020年	奈良市立鶴舞こども園を奈良市から民間移管を受けて、公私連携幼保連携型認定こども園鶴舞やまとこども園を奈良市鶴舞東町に定員175名で開園
	2020年4月 昭和保育園を大和郡山市社会福祉協議会から民間移管を受けて、昭和こども園を大和郡山市馬司町に定員75名で開園
2021年	2021年4月 はぐみ保育園を幼保連携型認定こども園に変更し定員を99名に変更
2024年	2024年3月奈良市立西大寺北幼稚園の移管先候補法人に選定
	2024年4月やまとこども園分園を拠点化により、やまとこども園mimiを定員65名で開園



社会福祉法人郡山双葉会

理事長 生田 宏史

理事 阪本 博 社会福祉法人事務長

理事 廣野 隆信 元県職員

理事 脇田 哲 社会保険労務士

理事 北條 正崇 弁護士

理事 大熊 将弘 会社員

理事 生田 治 やまとこども園園長

監事 藤崎 隆明 社会福祉法人理事長

監事 藤田 徹 税理士

会計監査人 福井 信造 公認会計士

運営施設 やまとこども園、やまとこども園mimi、ふたばこども園、はぐみこども園、昭和こども園、
鶴舞やまとこども園

職員数 156名

民営化後の概要

開園日・開園時間			
年間開園日数	241日 ※ 休園日数 124日		
休園日の設定	日曜日・土曜日（1号認定のみ）・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）		
	1号認定子どもの長期休業期間 7月20日～8月31日・12月24日～1月8日・3月19日～4月7日		
開園時間 保育時間	平日	最大開園時間	7時00分～19時00分
		保育時間（1号）	9時00分～14時00分
		保育時間（2・3号短時間）	8時30分～16時30分
		保育時間（2・3号標準時間）	7時30分～18時30分
	土曜日	最大開園時間	7時30分～18時30分
		保育時間（1号）	～
		保育時間（2・3号短時間）	8時30分～16時30分
		保育時間（2・3号標準時間）	7時30分～18時30分

民営化後の概要

特別保育事業	
1号認定子どもに対する幼稚園型一時預かり事業（預かり保育）【必須】	※実施時間、料金設定、職員配置の考え方も含めて記載してください。 <ul style="list-style-type: none">・実施時間 平日：7時30分～18時30分 長期休業期間：7時30分～18時30分・料金設定 500円/日額・職員配置 預かり保育担当の職員を配置
2・3号認定子どもに対する延長保育事業【必須】	※実施時間、料金設定、職員配置の考え方も含めて記載してください。 <ul style="list-style-type: none">・実施時間 短時間：7時00分～8時30分・16時30分～19時00分 標準時間：7時00分～7時30分・18時30分～19時00分・料金設定 500円/日額・職員配置 延長保育担当の職員を配置
その他（一時預かり事業等）【任意】	※実施時間、料金設定、職員配置の考え方も含めて記載してください。 <ul style="list-style-type: none">・実施時間 9時30分～15時30分・料金設定 4時間まで（1歳児・2歳児：1,500円、3歳児以上：1,200円） 4時間を超える場合（1時間ごとに400円を加算）・職員配置 一時預かり事業担当の職員を配置



民営化後の概要

保育料以外の保護者負担について		
名称	金額	内容
教材費	450円/月額	毎月使用する絵本等の教材代金
給食費（1号認定）	6,500円/月額	おやつを含まない
給食費（2号認定）	7,500円/月額	おやつを含む
昼寝用リースふとん	1,650円/月額	昼寝時のふとんの衛生面を考え、コットベットの使用予定です。
行事費	実費	遠足等の行事にかかる実費。
保育用品	実費	体操服・上靴・カラー帽子・通園リュック・スモックなど
預かり保育	500円/日額	1号認定子どもに対する幼稚園型一時預かり事業
延長保育	500円/日額	2・3号認定子どもに対する延長保育事業

※保育料以外の保護者負担については、三者協議会において、保護者の意見に十分配慮して最終決定します。



西大寺北幼稚園施設整備計画

施設整備の概要

【整備時期】

令和6年10月～令和8年3月（予定）

※3号認定こども園の受入は、令和8年2月頃からを予定しています。

【整備内容】

既存園舎の改修及び一部増築工事。改修工事では、一部保育室仮設園舎を設置し、保育区画と工事区画を分けることにより、工事中の園児や保護者の安全確保や騒音の軽減に配慮します。また、安全な戶外遊びのスペースの確保や遊戯室の継続使用や畑や遊具の移設など、現状の幼稚園運営への影響を最小限に抑え、子ども達の日頃の活動に影響が無いように工夫と配慮をします。施設整備の財源については、保育所等整備交付金及び認定こども園施設整備交付金を活用し、整備後定員を74名とします。

【整備場所】

西大寺北幼稚園敷地内

施設整備にあたっての考え方

※ 施設整備中の、在園児、近隣住民等への影響の軽減にかかる取組について記載してください。

本事業の施設整備計画は、敷地面積が狭く、前面道路も狭く一歩通行であることから、既存園舎を改修することで、大型工事車両の使用を控え、改修中は一部仮設園舎を設置し、保育区画と工事区画を分けることにより、工事中の園児や保護者の安全確保や騒音の軽減、安全な戶外遊びのスペースの確保など、現状の幼稚園運営への影響を最小限に抑えます。

計画では、園児がこれまで生活してきた大切な園舎の思い出を大切にすることをコンセプトに置き、園舎は内外装の全面改修に止め、現状の園舎の安全性や利便性の向上を図ります。また、園児と共に育った樹木などの自然環境は出来る限り保存し、これまでの様に四季を感じ、自然豊かな環境の中で園児が生き生きと活動できる場を保障します。

工事中や工事後の近隣への取組みとして、既存園舎の管理棟を解体撤去し、バススルー式の園児送迎用駐車場スペースと駐輪場を確保し、当該園の前面道路のスムーズな通行と安全確保に努めます。



西大寺北幼稚園整備後イメージ



ア・タ・ラ・シ・イ
カ・タ・チ



アタラシイカタチとは
いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも
新しく変化を重ねているものも取り入れること